平成３０年４月定例会会議録

（平成３０年４月１７日）

八代市教育委員会

八代市教育委員会４月定例会会議録

【開 催 日】　平成３０年４月１７日（火）

【場　　所】　八代市千丁支所２階　庁議室

【出 席 者】
北　岡　　博　教育長
冨　田　壽　人　教育委員
小　嶋　ひろみ　教育委員
松　永　松　喜　教育委員
水　田　千　春　教育委員

【出席職員】
桑　田　謙　治　教育部長
宮　田　　径　教育部次長
和久田　敬　史　教育部次長
機　　智三郎　教育政策課長
西　村　　裕　学校教育課長
有　馬　健　一　教育部首席審議員兼課長
澤　田　宗　順　理事兼生涯学習課長
沖　村　　巧　教育サポートセンター所長
福　原　　透　博物館未来の森ミュージアム副館長

【事 務 局】
岩　崎　伸　一　教育政策課課長補佐兼教育政策係長
西　村　妙　子　教育政策課主任

【審議事項】
＜報告案件＞
①報告第８号　平成３０年度教育部組織目標について
②報告第９号　臨時代理報告・八代市教育委員会事務局職員の人事異動について

１．開会　（午前９時５４分開会）

２．教育長報告

北岡教育長　前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

３．議題

〈報告第８号　平成３０年度教育部組織目標について〉

桑田教育部長　八代市総合計画、八代市重点戦略との整合性を図りながら、八代市教育大綱、八代市教育振興計画に掲げている５つの基本

目標を部の組織目標として設定した。

また、部の組織目標を具現化するための方策及び対策として、八代市総合計画の具体的な施策や教育振興基本計画の基本方針を基に、重点戦略に掲げられた施策を盛り込み、次の５つの重点施策を設定した。

①学校教育（学力の向上）の充実
②学びを支える教育環境の整備・充実
③安全・安心な学校づくり
④学校と地域が協働し、地域全体で子どもの教育を一体的に支援する体制づくり
⑤八代の文化の継承・活用による郷土への誇りと愛着の醸成

さらに、組織目標等を実現するため、部の組織目標として次の６つの具体的施策を設定した。これは、部長の個人の目標という位置づけにもなり、今後人事評価として振り返りと最終的確認をしていくものでもある。また、各課に対し、組織目標の明確化・共有化と、設定することにより課員に意欲を持たせるため、できる限り各課一つずつ、次のとおり設定している。

目標１　英語教育の充実
目標２　「八代市学校・子ども教育応援基金」を活用した事業の推進
目標３　学校・幼稚園の普通教室等への空調設備設置
目標４　地域学校協働活動推進事業の充実
目標５　博物館特別展覧会の開催
目標６　教職員の業務効率化

以上の部の組織目標については、部内、市長部局等とも連携をとりながら、教育長、教育委員と実現に向けて取り組んでいかなければならないと考えている。また、これから各課で、部の組織目標をもとに、また、部の組織目標に掲げられていないものについても、目標を設定し、取組んでいくこととしている。

小嶋教育委員　英語教育の充実について、子どもたちへ英語を学ぶ意義や意欲をまず与えないと、やらされている感でやっていくと続かないと感じる。また、小学校の先生が英語を教えることに不安を感じている。先生も自信を持ってやっていけるよう支援をしてもらいたい。

子ども・教育応援基金について、基金を利用する事業の内容がわかっていたら教えてほしい。

和久田教育部次長　子ども・教育応援基金について、教育政策課、学校教育課、教育サポートセンターで協議をしている。子どもたちの教育力

の向上のためにまず、先生たちの能力を引き上げることが必要であることから、先進地の先生を招いた先生たち向けの研修会の開催、教材の開発等、先生たちが自主的に行っている勉強会などの講師の謝礼、教材費などを考えている。

桑田教育部長　子どもたちの学力向上という大きな目標を立てて、子どもたちを直接応援するとともに、先生たちの授業力・教育力の向上が子どもたちの学力向上につながるため、このようなことを基本に実施要項を策定して、事業を選定していく。また、今後は学校現場の意見を聞いて、予算を見ながら事業の具体化をしていく。

水田教育委員　地域学校協働活動推進事業の充実について、ボランティアスタッフは、完全無償なのか。長期に渡って責任を持ってやっていただくためやモチベーションのために、交通費程度でよいので、わずかなお金を出してやってもらうといいのではないかと思う。コミュニティスクールも無償と聞いている。子どもたち相手に責任を持って大人が取組むという方向にいけないだろうかと考えるがどうか。

桑田教育部長　主要三事業は、国、県の補助事業で、市も負担している。事業を円滑に行うための地域学校協働活動推進員、コーディネーター、学習支援員の方たちへは、謝礼を支払うことになっているが、全てのボランティアスタッフに謝礼を出すとなると多額の経費がかかるため、予算として厳しい。

澤田理事兼生涯学習課長　地域学校協働活動については、学校と地域をつなぐコーディネーター役の地域学校協働活動推進員に謝金を払っている。また、推進員を通じて三中校区で４０名ほどのボランティアスタッフを確保しており、ボランティア保険をかけている。基本的に地域の方々であり、遠いところから来られているということはないため、保険での対応を行っている。放課後子供教室については、活動計画を立てるコーディネーター、教室で子どもを見る支援員が謝金の対象である。地域未来塾については、学力向上を含めた支援のため、退職校長会や教職ＯＢの方に謝金を払っている。今後は塾の先生や大学生まで範囲を広げないと人員の確保が難しくなっている。小学校までは子供たちを見守るという形だが、中学校は学力指導が出てくる。３事業については、謝金の対象となるので、その範囲内で確保しながら続けていきたい。

水田教育委員　　不公平感がでるのかなとも思う。コミュニティスクールの会議があっている地域で、それではやっていけないなどの話も聞いているがそういう形でされるのであれば、仕方がないと思う。

冨田教育委員　　英語教育の充実について、グローバル化しているため必要だと考えるが、子どもたちの発表力は、国語の授業でさえもなかなか言葉にならず単語を並べるような状態である。そういう基盤的なものがあるのに、英語教育になったときに、日本語を忘れてしまわないかと危惧している。中学校まで英語をしっかりすれば間に合うのではないかと思っている。国語との関連がどうかと危惧しているがどうか。子どもが英語検定を受けるとそれだけが目標になって、大切なところを先生が最初の段階でしっかり指導するかどうかという問題があると思うがどうか。

西村学校教育課長　　言語活動の充実が前の指導要領から出ており、全ての教科において国語科を中心として子どもたちの発表力を鍛えてきたところである。国の要請により小学校３年生から英語教育が入ってくるなど、教育改革のスピードが速く、学校現場と教育が追いついていない現状がある。先生たちの不安を取り除く対策として、ＡＬＴ・英語支援員の増加による効果的な指導法については、すでに研修の年間計画を立てているため、進めて行きたい。国語と英語教育との関連は、時数の増加というところで、難しいところがあるが、英語というツールを使って相手とコミュニケーションを図り、英語が通じたことを楽しみ、先生も英語を楽しんで行うということが大事である。国語との関連については、深い学びという視点から、言語活動をさらに充実させていきたいと思う。あれもこれもと現場は頭を抱えているが、学校教育課としても先生たちの不安を学校訪問などの際に吸い上げながら対応していきたい。

北岡教育長　　いろいろな意見をいただきましたが、予算の問題がある。有償ボランティアの件もずいぶん前から問題になっている。英語教育についても、不安がある中でも進めていかなければならないため、どうやって先生たちの負担を軽くして、英語の授業に取り組んでいただくかなど知恵を絞っているところである。委員のみなさまからも、ご意見、ご指摘などあったら教えていただき、取り組んで行きたいと思う。

〈報告第９号　臨時代理報告・八代市教育委員会事務局職員の人事異動について〉

機教育政策課長　　八代市教育委員会教育長に対する事務委任規則第４条の規定により４月１日付八代市教育委員会事務局職員の人事異動について報告

４．連絡事項　　学校教育課　辞令交付式、新規採用教職員宣誓式について、小・中学校運動会について、学校訪問について

生涯学習課　平成３０年度こどもの読書活動優秀実践図書館表彰について

教育サポートセンター　くま川教室取組みについて、研修取組みについて、教育サポート事業の取組みについて

博物館　春季特別展覧会について

事務局　５月定例会日程確認（5/14　10：00～）

５.会議録署名委員の指名　　冨田委員・水田委員

６．閉会　　（午前１１時１２分　閉会）

平成　　年　　月　　日

署名委員

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

記録者

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿